

# 令和 6 年度 学校関係者評価報告書

学校法人有坂中央学園  
高崎ビューティモード専門学校

## 1. 学校関係者評価委員会

学校法人有坂中央学園 学校関係者評価委員会は「令和 6 年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて学校関係者評価を令和 7 年 3 月 26 日に実施したので、下記のとおり報告します。

全体会 3 月 26 日（水）11：30～12：30 高崎ビューティモード専門学校 1 号館 2 階

業界関係者：深澤 勤(株式会社サロン・ド・ジュン)

業界関係者：須藤 圭子(ライフビューティ協同組合)代理：中村 和博

業界関係者：船津 真奈(日本健康文化協会)

卒 業 生：尾形 美夏

保 護 者：川岸 香織

## 2. 令和 6 年度自己点検・自己評価における学校関係者評価( 高崎ビューティモード専門学校 )

評価項目	評価	評価に対する今後の学校の取組等
1. 建学の精神・教育理念・教育目的・教育目標	<ul style="list-style-type: none"><li>●建学の精神のもと、教育理念・目標を定め、社会のニーズに対応した社会人の育成に努力している。</li><li>●教育理念・目標について学内・学外への更なる浸透を望む。</li><li>●学生の多様化に対応できる教育体制、学習意欲の維持向上の取り組みが求められる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○社会のニーズを踏まえた、新たな知識・技術を提供する機会を拡充するとともに、学生個々の能力に応じた個別指導や効率的な補習などを実施していく。</li><li>○教育理念・目標について、情報開示ガイドラインに沿った内容をホームページや学園新聞、又は学校内で継続的に発信していきたい。</li></ul>
2. 学校運営について	<ul style="list-style-type: none"><li>●運営方針及び事業計画が策定されており、また運営組織やその意志決定の過程も明らかになっている。</li><li>●時代のニーズに対応した教育人材像を、教育編成委員会をはじめ、外部等のアドバイスを取り入れ、更に質の高い教育を継続している。</li><li>●基礎学力の向上を進めてほしい。</li><li>●学生アンケートの結果に基づく改善が継続して行われることが望ましい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○生徒の基礎学力向上の取り組みを継続させていく。</li><li>○時代のニーズに対応した教育内容の策定を継続的かつ計画的に取り組んでいく。</li></ul>
3. 教育の実施体制	<ul style="list-style-type: none"><li>●国家試験合格率やこれまでの長年の実績から教育水準は高いと考える。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○定められた教育内容（知識、技術の修得）に重点を置きながらも、業界・社会</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実践的な技術の獲得、社会人としての人間形成、モラルや意欲の問題、学生の習熟度など取り組むべき課題もある。</li> <li>●教育環境である防犯、防災等の安全を重視した環境整備ができている。</li> <li>●保護者との連絡が円滑に実施できるメールシステムの導入を検討して頂きたい。</li> </ul>	<p>が求める実践力を持った社会人を育成するための方策を議論し、企業や実習先の講師による特別授業の実施など、業界や企業等と連携したより実践的な技能を身につける教育に取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT 教育向上のため、学生個々のアカウントを作成し Google クラスルームでの円滑な運営を継続。</li> <li>○保護者向けの一斉配信システムの導入を決定し、円滑な連絡網の体制を強化した。</li> </ul>
4. 教育目標の達成と学習成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全国平均を上回る試験合格率であり、学修成果は高水準をキープしている。</li> <li>●就職目標、資格目標の達成度合いの数値化や、退学の要因となる学習意欲の低下や成績不良に対し、入学時の早い段階から面接指導などを通じて意識を高める取り組みに努力している。</li> <li>●卒業生へのアンケート調査を実施し、卒業後の動向（定着率・離職率）を把握し、得られた情報を基に、教育内容に盛り込み更に質の高い教育内容の実施を期待する。 (1年後及び3年後の把握)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資格・検定等の結果を検証し、報告を進め引き続き試験全員合格を目指していく。</li> <li>○補習授業や1年次からの行事を通して学習意欲の向上を図りながら退学率の低減に努める。</li> <li>○卒業後の動向、業界関係の情報収集に努め教育内容を精査するとともに、それらの情報を在校生並びに保護者等に提供していく。</li> </ul>
5. 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャリアサポート、奨学金制度、担任制度などさまざまな形で学生支援を行っている点は評価できる。</li> <li>●学生の精神的なケアも含めて、健康面でのサポートを今後も図ってもらいたい。</li> <li>●在学中からの相談窓口はもちろんのこと、卒業後も気軽に仕事等の悩みを相談できるサポート体制があると良い。（HP 等）</li> <li>●卒業後の再就職等の支援を強化して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学生個々の状況に応じて適切に対応する体制を充実していく。</li> <li>○保護者との密な連携を図り、学校教育への理解を促進していく。</li> <li>○卒業生への講習や研修をさらに検討し進めていく。</li> <li>○就職指導センターを主軸に仕組みの構築を検討していきたい。</li> </ul>
6. 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●専修学校各種学校の規定に則り、適切に運営が行われている。</li> <li>●女子学生を守るために配慮や、学校周辺を見回るなど危機管理への取り組みがでできているので保護者も安心すると思う。</li> <li>●地震などの天災における安全への対応やシステムを継続して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育成果を含めた具体的な学校情報を公開することで学校への理解を促進していく。</li> </ul>

7. 学生の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アドミッションポリシーに基づいた学則規定に則り、適切に募集活動は行われている。</li> <li>●専各団体との連携で AO 入試に関しても適切な募集活動を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○AO 入試については高校と協力し受験者に不利益が講じないよう今後も対応していく。</li> </ul>
8. 教育の内部質保証システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個人情報に関し、その保護のための対策が適切に取られている。</li> <li>●自己点検や学校評価等の指標が適切に運営され公表されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職業教育が発展する現状で、内部だけの評価だけではなく学校外の第三者評価への取り組みを検討する。</li> </ul>
9. 改革・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>●法令を遵守し、自己点検・自己評価を行うと共に、それらの情報を公開している。</li> <li>●コンプライアンス推進体制の強化が望まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法令遵守にあたっては、規定を整備し、全教職員間において周知徹底を図ることにより、コンプライアンスを推進する体制を早期に実現する。</li> </ul>
9. 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>●財務体質が健全であり、適切な財務運営が行われている。</li> <li>●厳しい学生募集の状況が続くことにより、財務基盤が弱体化する恐れもあるため、学生の安定確保と退学防止、経費節減等に一層力を入れてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外部監査による健全な学校経営を維持するとともに、募集活動の強化、退学率の低減、経費節減に努める。</li> <li>○管理規定を文書化し、より分かりやすく体制を作っていく。</li> </ul>
10. 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域活動や地域貢献、ボランティア活動への取り組みが継続的に実施されている。健康福祉も考慮しさらに充実させてほしい。</li> <li>●社会的活動を評価・単位認定するシステムを作る必要がある。</li> <li>●現在活動中のヘドネーション活動を拡げていって欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア活動については、学生個々のコミュニケーション能力向上の点からも、今後も継続的かつ積極的に実施していきたい。</li> <li>○活動記録を適切に記録および報告書を作成し、評価・閲覧できる体制を検討していく。</li> </ul>

### 3. 総評

上記 10 項目に対し、委員による評価は良好であったことから、有坂中央学園高崎ビューティモード専門学校の教育活動、学校運営は概ね高い水準で維持されていると評価する。一方で、実践的な教育の整備並びに学生の学力向上に対する取組等に対し常に時代に即した対応を行い、教育の質の向上に一層の努力を望みます。

以上